㉒ 七郎谷砂防堰堤工事における創意工夫について

株式会社　谷上組　　公共 通常砂防事業（国補正分）【翌債】工事

（平成 26年 3月26日　～　平成 26年10月31日）

現場代理人　　○清水（しみず）　久樹（ひさき）

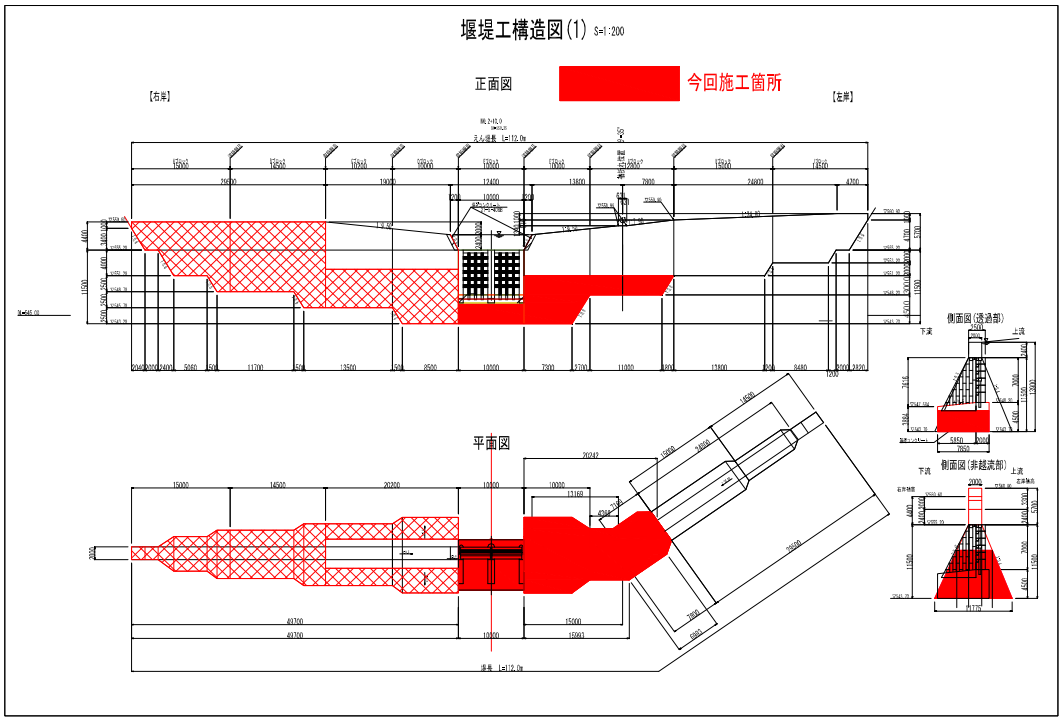
主任技術者　　兼任

1）はじめに

本工事は、神通川水系神通川(宮川)支川 七郎谷　飛騨市古川町中野地区に砂防堰堤を築堤する工事で、下流地域で生活される住民の土石流災害防止を目的とします。

施工した砂防堰堤は、本体工（透過部基礎工／非越流部）で主な施工内容は、土工（掘削・埋戻し・捨土）・本堤工（型枠組立・足場組立・・コンクリート打設）・仮設工（転流工）です。

2）工事概要



土　工

掘削	2,900	m3
埋戻し	230	m3
捨土	1,300	m3

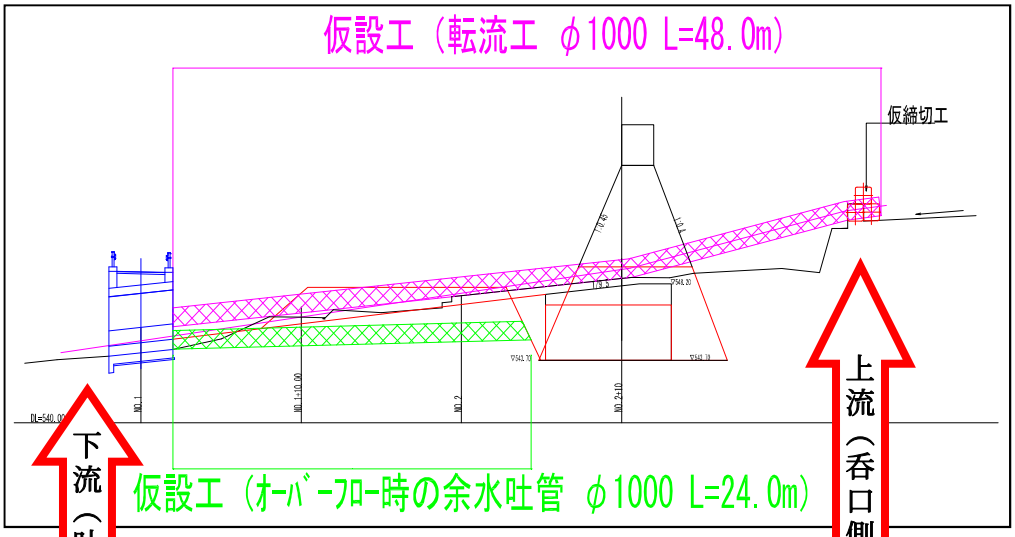
砂防堰堤工

ｺﾝｸﾘｰﾄ	887	m3
型枠工	300	m3
足場工	72	m

仮設工

転流工	1.0	式

3）仮設工における工夫



転流工設置完了後状況

工事施工時期が農繁期と重なる為、谷水を農業用水や生活用水として使用している下流地域住民の配慮として、転流工の主管は谷水の自然型排水（自然に濁水を除く事）を心がけた。豪雨等による現場内へのオーバーフロー対策には、余水吐管を設置し作業への安全対策とした。

やむをえず濁水排水しなければならない時は、農作業への配慮として、散水時間を把握し関係各位との相談後、期間を定める事により了承を得て、濁水排水予告として、2週間前にはビラ配布する事により周辺の住民に周知した。

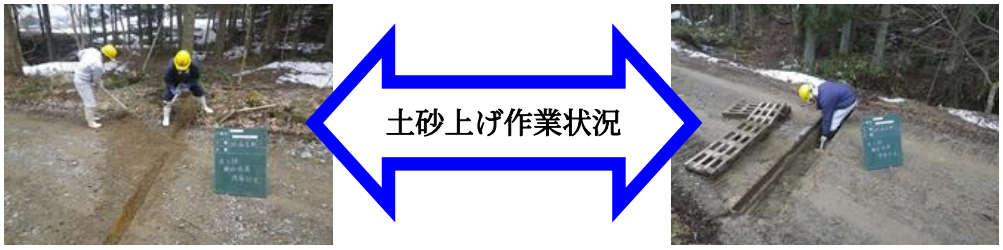
【関係者ビラ配布数　３４戸 ・ 配布回数　２回】

※ 付随しての応急対策

重機等のオイル流出対策は、吸着マット等を常備した。

４）使用道路への工夫

現場は国有林と隣接する場所でもあり、入山前には関係各位への挨拶後林道設置の横断側溝内の堆積土砂の除去を行った。



近年増加している鳥獣被害のため電柵が地域住民の手で設置されており林道を利用する関係者等への通行配慮に設置箇所注意の明記を行った。

掘削土砂を利用しての作業ヤードを設置する為、粘性分が多少多く作業ヤード周辺には購入土による置換えを行い、車両のタイヤに付着する土の除去対策とした。さらに公共道路の入口手前においてはロードマットを設置し更なる対策処置とした。

雨の日は、特にタイヤへの泥が付着する事から水中ポンプを利用して、タイヤの清掃と、散水車による道路清掃を速やかに行った。

環境配慮として道路周辺の除草作業の実施 【工事施工期間２回の実施】

清掃作業状況

草刈作業状況

また、年３回計画の（岐阜ロードプレーヤー）にも積極的に参加した。

国道・県道・市道の清掃活動状況

５）地域への配慮と工夫

地域住民等の、ふれあい及び意見交換の一環として『**掲示板**』を設置し工事進捗・林道案内の掲示と意見箱を備えてノートラブルを目指した。

※意見箱に投書は無かったが地域住民の反応は良かった。

掲示板詳細

プランター花壇設置

林道通行案内

工事進捗案内

意 見 箱

６）おわりに

現在では、人と人の『コミュニケーション』など大変少なくなり、また難しくなってきています。私達の携る建設業も例外ではなく地域住民とのトラブルなどで、工事の安全や工程に大きく左右される事があり、工事の目標にも大きく影響されますが、関係各位をはじめ、地域との信頼関係を築くことも『目に見えない大切な工事の一貫』と感じながら、今回無事故で工事を完成することができました。

工事完成写真（上流右岸側より撮影）